

平成30年度

事務事業評価表 A (平成29年度の実績評価)

記入年月日
平成 30 年 4 月 19 日

事務事業名		くらしの会助成事業					事業区分		担当	
		政策体系上の位置付け					新規/継続 単独/補助		事務事業No. 030203000699	
政策体系	総合計画の施策名		0302 防犯及び消費生活対策の推進			単独		所属課		030301
	政策名		03 安全安心な暮らしのまちづくり			主要事業		生活環境課		
	施策名		02 防犯及び消費生活対策の推進			市長マニフェスト		グループ		市民活動・交通安全
	手段名		03 ③消費生活対策の推進			未来PJ事業				
		財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	07	01	03	01	00	消費者行政事業			
法令根拠							単年度繰返し (年度~)		期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入	

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像) 【事務事業の内容】 ・消費者団体である「桜川市くらしの会」に補助金を交付し、消費者問題や環境問題、ボランティア活動を中心に行っていることから、消費者の生活安定向上を目的としたくらしの会の活動を支援する。 【事業費の内訳】 ・くらしの会補助金 100,000円 (平成29年度より)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順 ・補助金交付等事務 ・総会、役員会、研修会等の資料作成及び参加 ・おもしろ講座、各種事業の準備及び開催

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・補助金の交付 ・総会、役員会、研修会等の資料作成及び参加 ・おもしろ講座、さくらフェスティバル等、各種事業の準備及び開催	各種事業開催日数	日	12.00	10.00	12.00	12.00	0.00
	活動日数	日	85.00	80.00	90.00	90.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
市民及び会員	人口	人	42,000.00	41,278.00	41,008.00	40,738.00	40,467.00
	会員数	人	75.00	68.00	70.00	75.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度
くらしの会の活動に興味を持ち、会に加入してもらい会に活動を共に行うとともに、研修会等に進んで参加する。	活動及び研修会等参加人数	人	135.00	160.00	170.00	180.00	0.00
	新会員数	人	2.00	4.00	3.00	3.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	28年度	29年度	30年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	80	100	100	0
	事業費計(A)	千円	80	100	100	0
人件費	正規職員従事人数	人	2.00人	2.00人	2.00人	
	述べ業務時間	時間	124.45	84.15	80.00	
	人件費計(B)	千円	364	246	234	
トータルコスト(A)+(B)		千円	444	346	334	

29年度事業費 実績 (千円)

30年度事業費 予算 (千円)

事業費の内訳	19 負担金補助及び交付金	100		19 負担金補助及び交付金	100	
		合計	100		合計	100

(4) 当該年度の実施内容

※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業	30年度の事業内容	31年度の事業内容	32年度の事業内容

事務事業名	くらしの会助成事業	事務事業No.	30203000699	所属課	生活環境課
-------	-----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?

昭和53年から活動を開始してから、36年活動しており、消費生活を取り巻く状況は、著しく変化している。これに伴い様々な問題が発生しており、問題を効率的に解決していくためには、主体的・合理的に行動することが必要であり、それが可能になるよう支援していくことが大切である。

(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか?

真壁くらしの会が始まりであり、合併に伴い「桜川市くらしの会」となった。平成26年度までは真壁地区がほとんどで岩瀬地区会員は2名となっていたが、26年度は大和地区も2名加わったが、平成28年度には岩瀬地区で1名加わり、岩瀬地区・大和地区の会員を徐々に増やすことが望ましいとの意見がある。

(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容

改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目

目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている	様々な知識を習得し情報提供していることで、市民生活の安全安心に過ごせるまちづくりに結びついている。
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である	くらしの会を支援することで、市民に情報の周知により安全安心に繋がる。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある	活動を充実を図るため、会員数を増やし活動を活発にすることで成果がでる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?)	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有	市民の消費生活安定向上のためにも廃止・休止することで、市外で活動している団体との情報収集の手段が途絶えてしまう。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない	市内には消費者団体が1団体となるため、統廃合は無理である。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある	事業については活発に活動していることから削減は難しいが、人件費については、会員で会を進めていくことで削減できる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?)	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である	会員が得た情報や知識を市民に提供していることから、公正・公平である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	消費生活センターではくらしの会会員対象に講座を開催し情報発信し、また、消費者問題で悩んでいる市民を消費生活センターを案内して解決の糸口に繋がっている。自主活動をしていこうという傾向になってきており、行事の参加者は増えてきているが、会員の減少がみられるため勧誘活動も積極的に行う必要がある。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <tr> <td colspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td colspan="2"></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>				コスト					削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
		コスト																								
		削減	維持	増加																						
成果	向上		○																							
	維持			×																						
	低下			×																						
補助金が増額になったことから、活動の見直し案が出ている。会員が自主的に活動できるような組織づくりと環境づくりが必要であり、そうすることで参加しやすい会となり会員の増加にもつながると考えられる。		(6) 事務事業優先度評価結果																								
		成果優先度評価結果																								
		コスト削減優先度評価結果																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A: 継続(現状維持) <input type="checkbox"/> C: 終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B: 継続(改革改善を行う) <input type="checkbox"/> D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>